

学校におけるゴルフ実施状況について  
麻生 詩織 (生涯スポーツ学科 学校スポーツコース)  
指導教員： 谷川 尚己

キーワード ゴルフ 教育 生涯スポーツ

### 1.序論

私は、ゴルフを行うことにより、心身ともに鍛えられることから、教育現場に取り入れることによって、子どもの成長に良い影響を及ぼすのではないかという考えから、教育現場でのゴルフの実施状況に興味を抱いた。本研究では、授業や課外活動の実施状況、さらには教育現場外では、ジュニアゴルファーがどのような活動しているのか調べることにした。特に、本大学がある滋賀県の実態について、調査を行った。

### 2.研究の目的

ゴルフは生涯スポーツとして親しまれているが、そのゴルフが教育現場で普及していない現状があると思われる。そこで、その実態を調べるとともに、教育現場でゴルフが幅広く実施されるにはどのような方策をとればよいのかを目的とした。

### 3.研究方法

アンケート調査により、滋賀県のゴルフ実施人数、ジュニアゴルファーの実施人数、教育現場でのゴルフの実施状況、課外活動の有無などを調査した。

〈調査対象〉滋賀県ゴルフ連盟・滋賀県内にある高等学校 72 校に依頼し、回収率は内 65% (47 校) であった。

### 4.結果および考察

滋賀県のゴルフの実施人口は約 7,500 名。市町村ゴルフ協会に登録している人口、6,500 名、登録せずに大会などに出ているフリー人口 1,000 名。小学生 6 歳～12 歳は 30 名、中学生 13 歳～15 歳は 20 名、高校生 16～18 歳は 15 名で、合計 65 名である。

次に、保健体育科の授業として、ゴルフを行っている学校は 15 校 (32%) であり、教科外

で行っている学校は、5 校 (11%) であった。今後ゴルフを教育現場で実施する予定があると答えた学校は、18 校 (38%) で、実施する予定がない学校は、29 校 (62%) であった。滋賀県の高等学校のゴルフ部は、同好会、課外活動として各 1 校である。全国の高等学校で日本高等学校ゴルフ連盟に加盟しているのは、男子 237 校、女子 153 校の合計 390 校加盟しているが、滋賀県は 1 校も加盟していないのが現状である。

### 5.結論

今回の研究で、滋賀県内の高等学校での授業内でのゴルフの実施状況は、保健体育科の授業として 15 校、教科外として 5 校で、同好会、課外活動として各 1 校しか実施しておらず全国と比較すると、圧倒的に少ないことがわかった。ゴルフを教育現場で実施している学校は、スポーツを楽しむ基礎を養い、生涯にわたって楽しめるスポーツに取り組むことを目標としていた。今後の課題として、ゴルフを教育現場に普及させていくためには、高等学校指導要領に記されているように、生涯にわたりスポーツを楽しむ基礎を養うために、生涯スポーツとしてゴルフ取り入れようという積極的な考えと行動が必要であると考え。そして、他人を尊重する心が生まれ世代を超えた交流ができるという特性があるゴルフをもっと教育現場で定着させる重要と考える。

### 6.参考文献

文部科学省(2010): 高等学校学習指導要領 保健体育編・体育編.

福田寛夫・蝦名謙一: 学校教育へのゴルフ導入の実際とその意義.

佐藤豊: 教育現場におけるゴルフの可能性.